

中城村・北中城村の自然・歴史・文化を活かして連携促進を図る 共同まちづくりについてのアンケート調査

1. アンケート調査の概要

1.1 調査目的

中城村・北中城村の共同まちづくり計画の検討のため、共同まちづくりに関する課題やニーズの収集を行うことが主な目的です。

1.2 調査概要

- (1) 調査地域 中城村・北中城村
- (2) 実施時期 令和3年10月4日～10月31日
- (3) 調査対象 両村に在住の小学生以上の住民（無作為抽出）
- (4) 調査方法 各世帯に3票配布、ポスティング配布・郵送回収
- (5) 配布・回収状況

	配布世帯数 (世帯)	回収世帯数 (世帯)	アンケート 回収数(件)	回収世帯率 (%)
中城村	3,681	425	687	11.5
北中城村	3,019	375	628	12.4
合計	6,700	800	1,315	11.9

1.3 留意事項

- ・「n」は、「Number of case」の略で、集計回答者数の母数を示します。
- ・百分率による集計では、集計回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数第2位以下を四捨五入し、小数第1位までを表記します。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- ・設問ごとに、未回答や設定と異なる数を選択している回答は除外し、集計します。

	集計回答数	除外回答数	除外回答内訳	回収数
問1	1306件	9件	未回答：7件、設定と異なる回答：2件	計1315件
問2	1306件	9件	未回答：5件、設定と異なる回答：4件	
問3	1305件	10件	未回答：10件	
問4	1300件	15件	未回答：15件	
問5	1307件	8件	未回答：8件	
問6	1296件	19件	未回答：15件、設定と異なる回答：4件	
問7	1246件	69件	未回答：68件、設定と異なる回答：1件	
問8	798件	517件	未回答：24件、設定と異なる回答：493件	

2. 集計結果

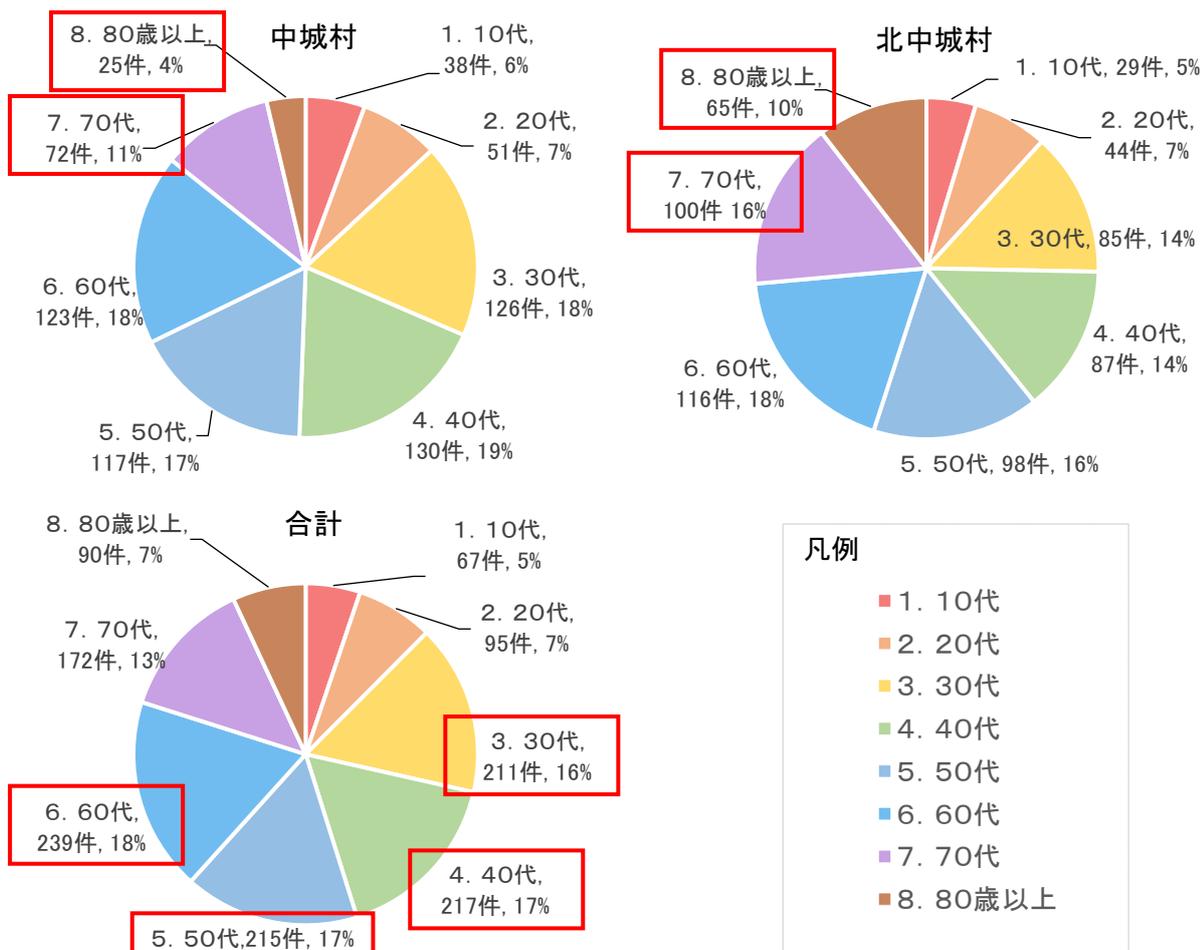
■あなたご自身のことについて

問1. あなたの年齢について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

回答者の年齢について両村の合計結果を見ると、「3. 30代」～「6. 60代」がそれぞれ200件以上の回答があり、多くなっている。北中城村の集計結果を見ると、中城村に比べ、「7. 70代」「8. 80歳以上」が16%、10%と回答が多くなっている。

問1	中城村		北中城村		合計	
1. 10代	38	6%	29	5%	67	5%
2. 20代	51	7%	44	7%	95	7%
3. 30代	126	18%	85	14%	211	16%
4. 40代	130	19%	87	14%	217	17%
5. 50代	117	17%	98	16%	215	16%
6. 60代	123	18%	116	19%	239	18%
7. 70代	72	11%	100	16%	172	13%
8. 80歳以上	25	4%	65	10%	90	7%
合計	682		624		1306	

※9件除外(未回答やその他回答)

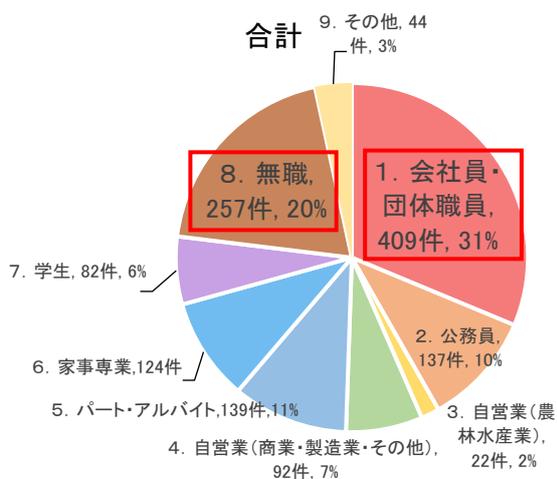
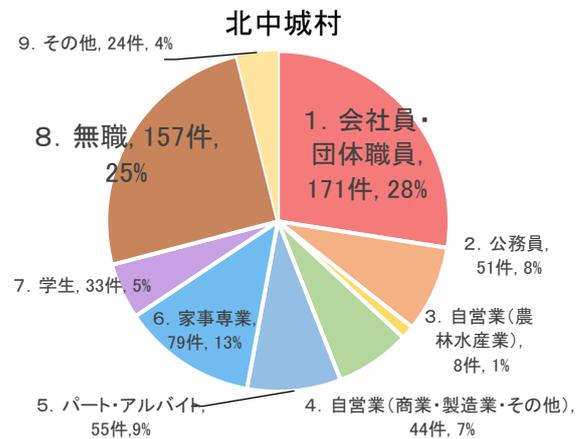
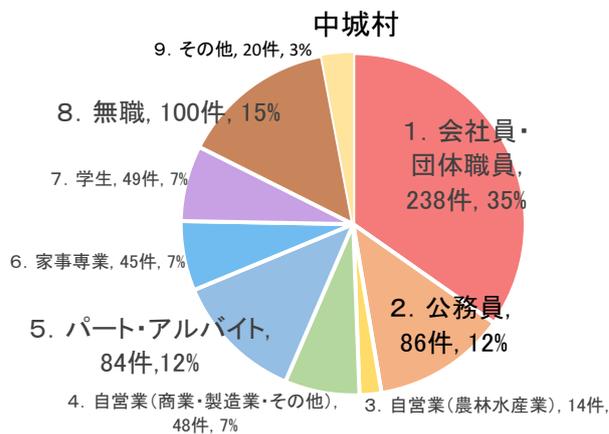


問2. あなたの職業について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

回答者の職業について両村の合計結果を見ると「1. 会社員・団体職員」が409件（31%）と最も多く、次いで「8. 無職」が257件（20%）となっている。

問2	中城村		北中城村		合計	
1. 会社員・団体職員	238	35%	171	27%	409	31%
2. 公務員	86	13%	51	8%	137	10%
3. 自営業(農林水産業)	14	2%	8	1%	22	2%
4. 自営業(商業・製造業・その他)	48	7%	44	7%	92	7%
5. パート・アルバイト	84	12%	55	9%	139	11%
6. 家事専業	45	7%	79	13%	124	9%
7. 学生	49	7%	33	5%	82	6%
8. 無職	100	15%	157	25%	257	20%
9. その他	20	3%	24	4%	44	3%
合計	684		622		1306	

※9件未集計(未回答と複数回答)



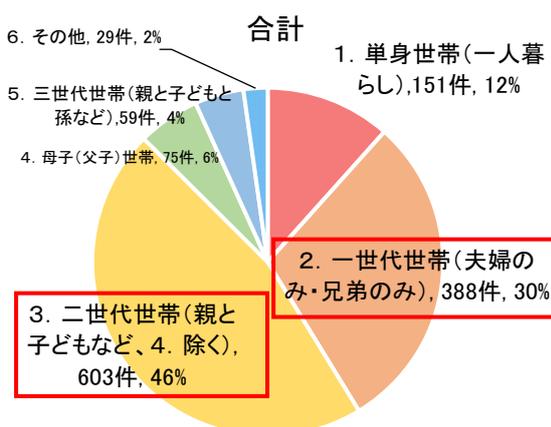
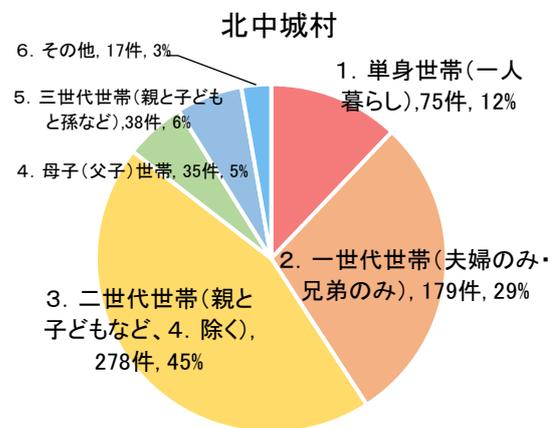
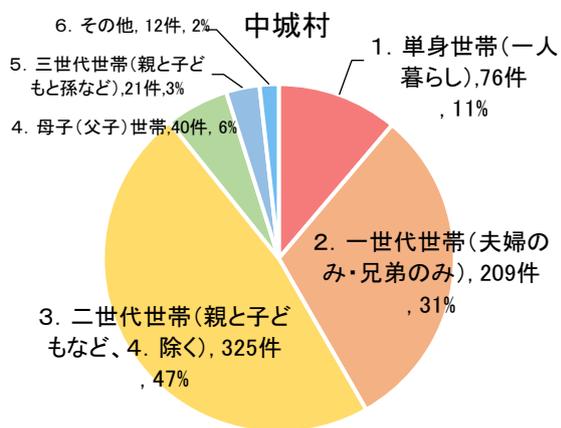
主なその他の回答
 ・ 法人代表 ・ 医者 ・ 看護師 ・ 研究、教育 ・ 保育士 ・ 契約社員

問3. あなたの家族構成について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

回答者の家族構成について両村の回答結果を見ると「3. 二世世代世帯（親と子どもなど、4. 除く）」が603件（46%）と最も多く、次いで「2. 一世代世帯（夫婦のみ・兄弟のみ）」が388件（30%）となっている。

問3	中城村		北中城村		合計	
1. 単身世帯(一人暮らし)	76	13%	75	12%	151	12%
2. 一世代世帯(夫婦のみ・兄弟のみ)	209	34%	179	29%	388	30%
3. 二世世代世帯(親と子どもなど、4. 除く)	325	54%	278	45%	603	46%
4. 母子(父子)世帯	40	7%	35	6%	75	6%
5. 三世代世帯(親と子どもと孫など)	21	3%	38	6%	59	5%
6. その他	12	2%	17	3%	29	2%
合計	607		622		1305	

※10件除外(未回答)



凡例

- 1. 単身世帯(一人暮らし)
- 2. 一世代世帯(夫婦のみ・兄弟のみ)
- 3. 二世世代世帯(親と子どもなど、4. 除く)
- 4. 母子(父子)世帯
- 5. 三世代世帯(親と子どもと孫など)
- 6. その他

主なその他の回答
 ・ 夫婦と孫
 ・ 四世代世帯

問4. あなたのお住まいの地区に1つだけ○をつけてください。

中城村に住む回答者の居住地区について集計結果を見ると、「21. 南上原」が276件（41%）と最も多くなっており、次いで、「15. 久場」が54件（8%）、「6. 奥間」が43件（6%）となっている。

また、北中城村に住む回答者の居住地区について集計結果を見ると、「7. 島袋」が167件（26%）と最も多くなっており、「11. 安谷屋」が77件（12%）、「1. 喜舎場」が60件（10%）となっている。

問4	中城村	
1. 伊集	15	2%
2. 和宇慶	19	3%
3. 南浜	7	1%
4. 北浜	14	2%
5. 津覇	34	5%
6. 奥間	43	6%
7. 浜	1	0%
8. 県営中城団地	2	0%
9. 安里	11	2%
10. 当間	35	5%
11. 屋宜	27	4%
12. 添石	18	3%
13. 伊舎堂	17	3%
14. 泊	16	2%
15. 久場	54	8%
16. 県営中城第2団地	3	0%
17. 登又	11	2%
18. 新垣	8	1%
19. 中城サンヒルズタウン	31	5%
20. 北上原	37	5%
21. 南上原	276	41%
合計	679	

※8 件除外(未回答)

問4	北中城村	
1. 喜舎場	60	10%
2. 仲順	56	9%
3. 熱田	43	6%
4. 県営北中城団地	3	1%
5. 和仁屋	21	4%
6. 渡口	37	6%
7. 島袋	167	26%
8. 屋宜原	27	5%
9. 瑞慶覧	16	3%
10. 石平	0	0%
11. 安谷屋	77	12%
12. 荻道	46	8%
13. 大城	31	5%
14. 比嘉	7	1%
15. 美崎	18	3%
16. ライカム	12	2%
合計	621	

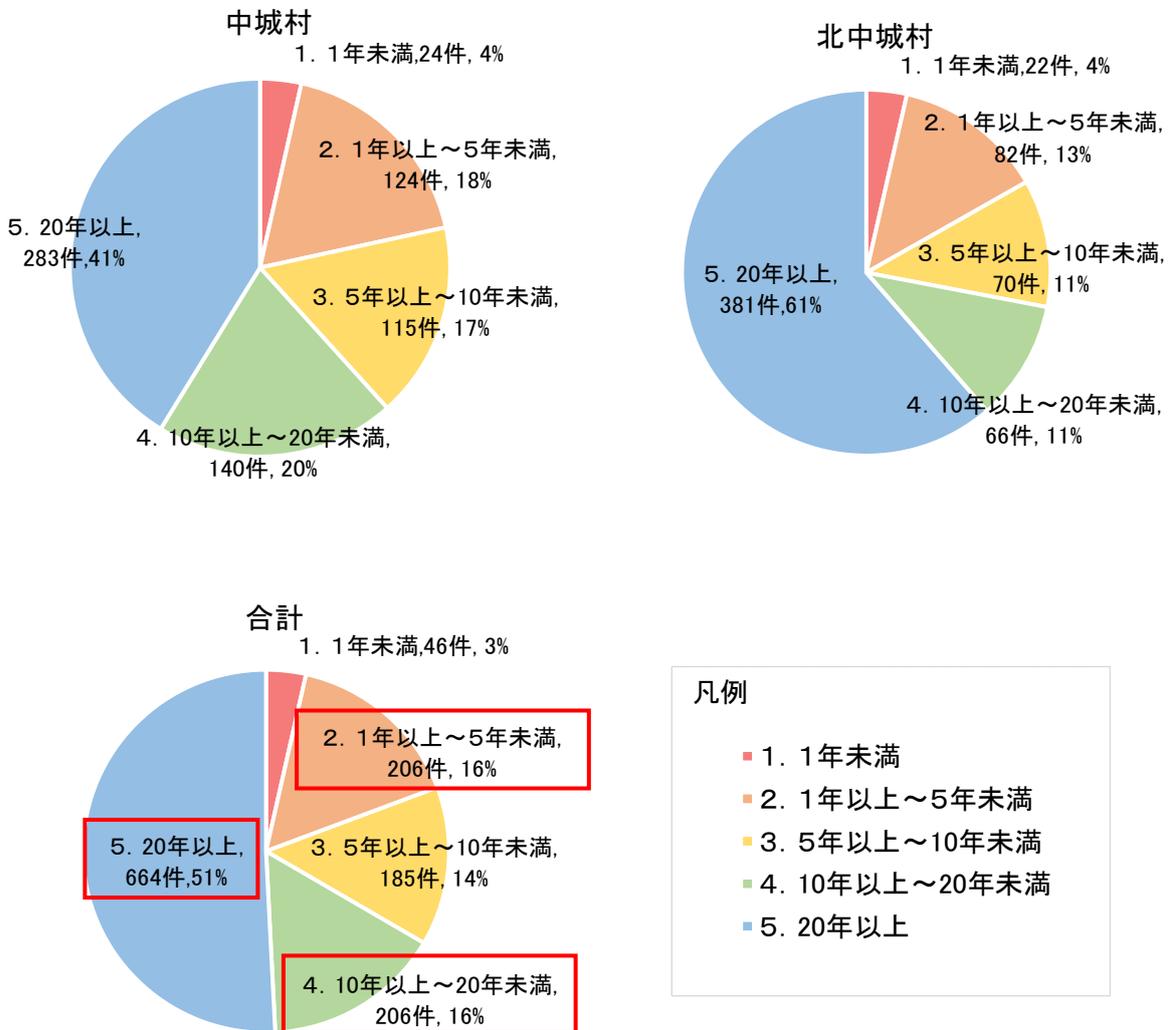
※7 件除外(未回答)

問5. あなたは中城村・北中城村に住んで何年になりますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

回答者の居住歴について合計結果を見ると、「5. 20年以上」が664件（51%）と最も多く、次いで、「2. 1年以上～5年未満」と「4. 10年以上～20年未満」が206件（16%）となっている。

問5	中城村		北中城村		合計	
1. 1年未満	24	3%	22	4%	46	4%
2. 1年以上～5年未満	124	18%	82	13%	206	16%
3. 5年以上～10年未満	115	17%	70	11%	185	14%
4. 10年以上～20年未満	140	20%	66	11%	206	16%
5. 20年以上	283	41%	381	61%	664	51%
合計	686		621		1307	

※8件除外(未回答)



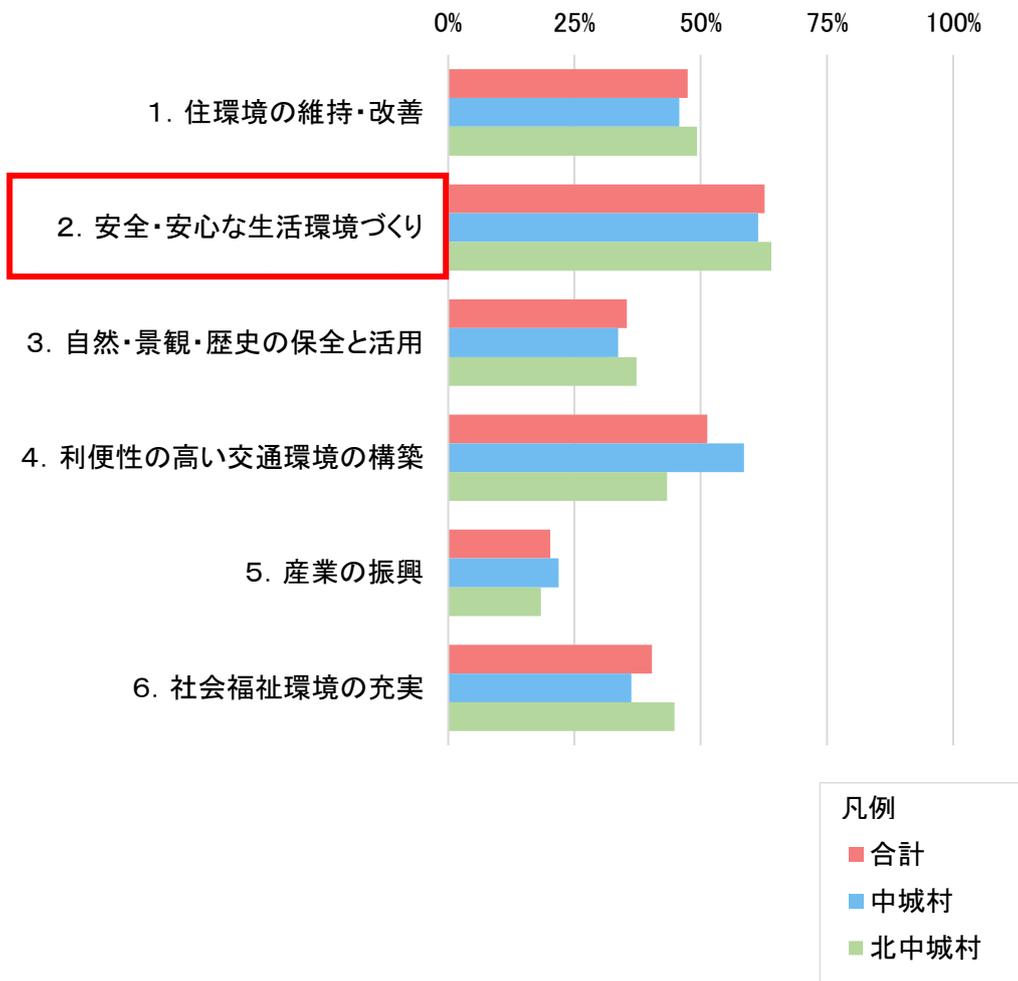
■共同まちづくりについて

問6. 現在のお住いの地域に関して、今後のまちづくりで特に重要だと思うものを3つまで○をつけてください。

まちづくりで重要だと思う項目について、両村全体では、「2. 安全・安心な生活環境づくり」が 821 件（63%）と最も多く、次いで、「4. 利便性の高い交通環境の構築」が 673 件（51%）、「1. 住環境の維持・改善」が 622 件（47%）となっている。また、中城村と北中城村を比較すると、「4. 利便性の高い交通環境の構築」は、中城村が北中城村より割合が高くなっており、「6. 社会福祉環境の充実」は、北中城村が中城村より割合が高くなっている。

問6	中城村		北中城村		合計	
1. 住環境の維持・改善	314	46%	308	49%	622	47%
2. 安全・安心な生活環境づくり	421	61%	400	64%	821	63%
3. 自然・景観・歴史の保全と活用	231	34%	233	37%	464	35%
4. 利便性の高い交通環境の構築	402	59%	271	43%	673	51%
5. 産業の振興	150	22%	115	18%	265	20%
6. 社会福祉環境の充実	249	36%	280	45%	529	40%
	n=682		n=614		n=1296	

※19 件除外(未回答、4つ以上回答)

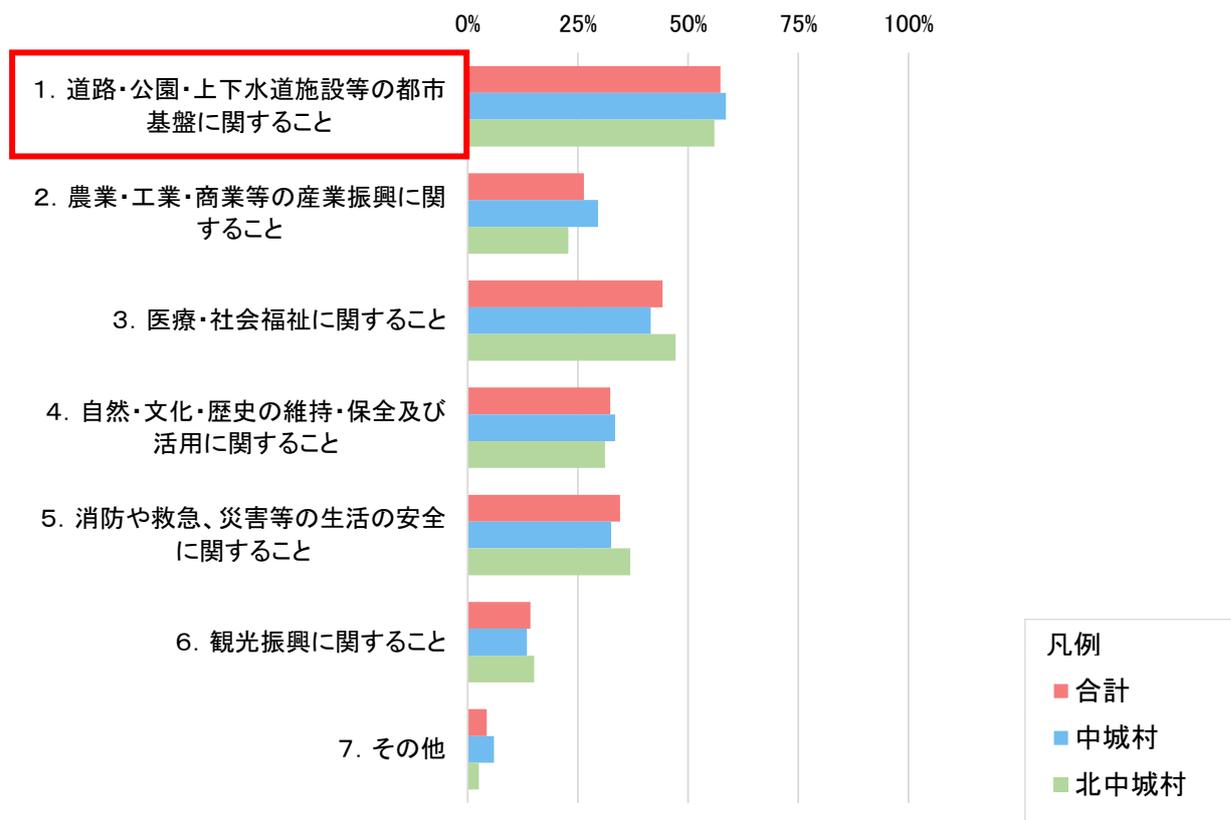


問7. 共同まちづくりを進める上で重要だと思うものについて、あてはまるものに○をつけてください
(複数回答可能)。また、選んだものが重要だと思う理由をお書きください。

共同まちづくりを進める上で重要だと思う項目について、両村全体では、「1. 道路・公園・上下水道施設等の都市基盤に関する事」が715件(57%)と最も多く、次いで「3. 医療・社会福祉に関する事」が551件(44%)、「5. 消防や救急、災害等の生活の安全に関する事」が431件(35%)となっている。また、中城村と北中城村を比較すると、「2. 農業・工業・商業等の産業振興に関する事」は中城村が北中城村より割合が高くなっており、「3. 医療・社会福祉に関する事」は北中城村が中城村より割合が高くなっている。

問7	中城村		北中城村		合計	
1. 道路・公園・上下水道施設等の都市基盤に関する事	384	59%	331	56%	715	57%
2. 農業・工業・商業等の産業振興に関する事	194	30%	135	23%	329	26%
3. 医療・社会福祉に関する事	272	42%	279	47%	551	44%
4. 自然・文化・歴史の維持・保全及び活用に関する事	219	33%	184	31%	403	32%
5. 消防や救急、災害等の生活の安全に関する事	213	33%	218	37%	431	35%
6. 観光振興に関する事	88	13%	89	15%	177	14%
7. その他	39	6%	15	3%	54	4%
	n=655		n=591		n=1246	

※68件除外(未回答、理由より推測して回答)



主なその他の回答

- ・教育、子育てに関する事
- ・交通環境に関する事、高齢者の移動手段について
- ・学習環境、図書館、文化ホール
- ・二村合併
- ・少子化対策
- ・スポーツ施設
- ・個人の畑の使用マナー
- ・住環境の整備
- ・合同村営墓地、火葬場等の整備
- ・共通の都市スペース

問7 回答した理由を抜粋し記載する。

「1. 道路・公園・上下水道施設等の都市基盤に関すること」を回答した理由（抜粋）

- ・道路、公園が整備されていると、安全・安心な生活環境につながると思うから。
- ・凸凹した道路が多い、歩道がせまい。
- ・外灯を増やして、夜でも安心して歩けるようにした方がいい。
- ・中城城跡までの道など、観光地へ向かう道路の草木が、茂っているのが恥ずかしい。
- ・共同のスペース（イベント開催の場、観光振興の受皿の場など）をつくるのが重要だと思う。
- ・安心して遊べる公園。村民が屋外で過ごせる、整備された複合利用できる場。（遊具がある。ゲートボールができる。おしゃべりするベンチがあるなど。）

「2. 農業・工業・商業等の産業振興に関すること」を回答した理由（抜粋）

- ・共に支え合う創意工夫で、連携する産業基盤は、生活の向上に繋がる。
- ・産業振興では、商業地域がなく、国道沿いや県道沿いは、商業可能な区域がほしい。
- ・中城村は、土地改良地区も多く、農業をする環境は整っているが、耕作放棄地も多く、利用されていない畑などの農業振興に力を入れてほしい。
- ・住まいと職場は、近い方が便利。働く場所が増えれば、人も増える。
- ・スーパーが少ない。買い物で近隣市町村まで行かないとない。
- ・地域の農作物の直売所を作る。
- ・産業振興による雇用増加、人口増加、納税増加により、財政力の増加により、社会保障予算（財源）の確保、納税により、安心できるセーフティネット等の構築を図る為・農地の使用されていない場所を、村民から活用できる仕組み作りをして欲しい為。
- ・農業は盛んであるが、モラルが悪い（無い）。自己中心的な印象しかなく、周辺への配慮が無い。野焼きもひどい。ゴミもそのまま。観光を進めても、見た目も悪いため、意味をなしていない。
- ・若い人は農業をしようとしている人は、少なからずいます。なので、その人達に土地をゆずれるようなサポートをしていくべきかなと感じます。
- ・働く人の多くが、那覇に行ってしまうているが、中部エリアにも、オフィスとして入れるビルがあれば、南部に流出することもなくなる。朝の交通渋滞に巻き込まれず、ストレスフリーにもなる。また、多くの法人があることは、村の税収にもプラスになる。様々な働き方が広まっているので、大企業ではなく、小企業やスタートアップ、フリーランスが入れるコワーキングスペースのような場を安価で提供してもらいたい。

「3. 医療・社会福祉に関すること」を回答した理由（抜粋）

- ・病院が少ない。
- ・巡回バス等（イオンライカム～）があると、車のない方、お年寄りの方、もしくは、買い物サービス等あったら、便利ではないかと思います。
- ・公営斎場の設営で住民福祉の向上を図って欲しい。
- ・格差拡大から社会的孤立→貧困に陥る等への対策。
- ・医療や子どもに関する施設等の子どもを見てくれる所がなければ、結局は住もうと思わなくなるのではないのでしょうか。
- ・貧困世帯の改善に力を注いでほしい。子どもは、村の未来です。みんなで手助けしたいです。
- ・助成の内容など、統一されていた方が周知等しやすいと思うので、利用も広がるのではないかと思います。
- ・入居できる老人ホーム、施設があるのかどうか心配でなりません。
- ・子育てしやすいような地域にするために、地域に密着した医療機関、福祉機関を増やす必要がある。新型コロナウイルスの影響により、地域との人々の交流が減少しているため、ITなど新しい方法を活用し、より発展した医療・福祉システムを作っていく必要があるため。

「4. 自然・文化・歴史の維持・保全及び活用に関すること」の回答した理由（抜粋）

- ・北中城村の大城荻堂地区のような田舎らしい景観を望みます。
- ・後世にほこれる自然・文化・歴史を守っていききたい。
- ・魅力あるまちづくりをすることで、多世代の人に住みたいまちになることが、今後のまち運営に欠かせない。特に、持続可能なまちづくりを行わなければ、過疎化は止められない。新たな商業施設づくりだけでは、経済発展は頭うちになる。現在増えつつある魅力あるカフェなどは、都会に住み観光客が、SNSを通してPRすることで、県内在住者にも、いいプロモーションになっている。大きな施設作りも、地域活性になっているが、そこに空き家、空き畑（遊休農地）の活用、歴史、自然資源を加えて、新たな観光のスポット作りや、移住先としての魅力作りが可能だと思う。「映える」村づくり、「バズる」村づくりを行いつつ、世代間交流が活発な地域づくりに期待したい。
- ・中城城跡という世界遺産がある。また、仲村家など文家的価値のある建物もある。自然も豊かで、鳥のさえずりや、緑多い中に、数多くのカフェがあり、とても魅力的な村だと思う。守り活用することで、経済的発展につながると思う。
- ・開発されすぎてないところが、この地域の好きなところでもあるので、自然の保全は大切にしたい。
- ・自然も多く、とても良い環境の地域だと思う。今後も緑豊かなまちづくりをしてほしい。
- ・昔あそびや伝統芸能を、老人会と子供会の合同継承会を行ってみるのも良いと思います。

「5. 消防や救急、災害等の生活の安全に関すること」の回答した理由（抜粋）

- ・ハザードマップにある通り危険地域であるため何か対策して欲しい。
- ・災害が起きた時、避難所など、整った設備等があると被害も最小限に減るから。
- ・災害時の避難場所として、中城村役場になっているが、海に近い心配。保育園の避難場所にもなっている。疑問でしかない。
- ・避難訓練や災害に関するイベント等（島袋での）が必要。
- ・地震・津波が発生した際に、しっかりと命を守ることができる対策や、公共施設の整備を忘れずに進めてほしい。
- ・救急に関しては、中部徳洲会、ハートライフ病院と充実しているが、消防については、中城村内付近にしか無く、島袋地区、比嘉地区、ライカム、屋宜原等への出勤時間が遅いように感じる。また、島袋地区の増水問題、中城安里地区の土砂崩れ、災害に対する対応力が弱いと思う。
- ・被災時の避難場所（安全な）等について、周知してほしい。
- ・コンクリートの古い建物や、ブロック壁など、大きな地震の時に、崩れるのではないかと心配になる場所を、しばしば見かける。まずは、学校の周りなどから、整備や検査をして欲しい。
- ・放送がきこえていても、車が通ると、音が、かき消され、なにを言っているか、わからないので、家庭での放送に切りかえてほしい。

「6. 観光振興に関すること」の回答した理由（抜粋）

- ・中城村は自然・景観・眺望の素晴らしい村です。このことは、あまり知られてはいません。けれども、絶景が見える美術館とか、それと関連する施設や、レストラン、あるいは、カフェ等がありません。自然を活かした、外から予想もつかない別世界が広がる緑いっぱいのガーデンカフェなど、リゾートのような癒やしの空間が味わえるような商業施設、村の無農薬野菜や、陶芸や植物の販売などを含む観光産業で、さらに村が活性化するのではないかと思います。
- ・中城城跡、中城公園、歴史の道、ライカム、イオンモールまで、中城、北中城、境界の連結をどう共同でいかして、共同まちづくりに向けていくか、大きな観光振興の核となる要素がここにあると思う。
- ・観光は、中城・北中城の一体となった取り組みが必要。
- ・中城城跡が活用しにくい、整備不足。
- ・北中城には遊泳できる海がなく、中城にはホテルがない。両者が連携することは、観光振興の観点から見ると、必須であると思います。
- ・慣れない人には、道が分かりづらいので、看板などを置くことを許可しても良いと思います。
- ・中城・北中城で共有するポイントカード的なものがあったら良い。
- ・ユーチューバー、Vチューバー、いろんな切り口を模索したらいいと思う。
- ・他の自治体と区別できるような大規模な施設があってもいいと思います。（個人的には自然がたくさんあるので、それを活かした大型なテーマパーク等。）

問8. 両村の連携促進のための共同プロジェクトとして、次の中からより重要だと思うプロジェクトを3つまで○をつけてください。また、○を付けたプロジェクトの具体的な活用方法や整備等として、最も重要だと思う項目を3つまでに○をつけてください。

問8は以下の様に集計新たに設問番号を設定し、集計を行った。

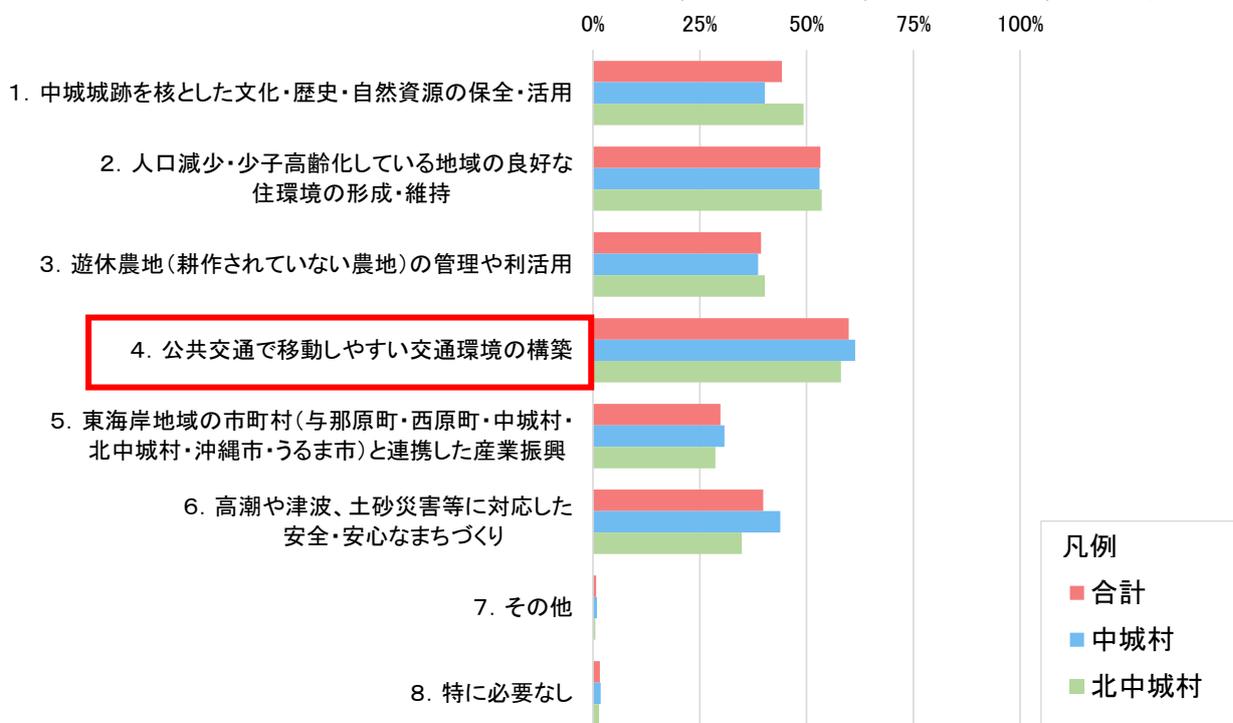
未回答や3つより多く選択した回答の計517件については除外し、798件の有効回答のみ集計を行った結果を次項以降に示す。

共同プロジェクト		具体的な活用方法や整備等		
問8	1. 中城城跡を核とした文化・歴史・自然資源の保全・活用	→	1. 文化財や伝統的集落等の保全・利活用 2. 中城公園における歴史文化施設の整備 3. 歴史・文化資源を活用した計画的なまちづくり 4. 良好な自然環境や風景の保全 5. その他 ()	問8-1
	2. 人口減少・少子高齢化している地域の良好な住環境の形成・維持	→	1. 新たな居住者や子・孫のための住宅の確保 2. 日常生活に必要な店舗・サービス施設の立地 3. 地域住民の意向や実情に応じた土地利用 4. 集落コミュニティの維持 5. 子育て環境の充実 6. その他 ()	問8-2
	3. 遊休農地（耕作されていない農地）の管理や利活用	→	1. 農地の集積・集約化による利用 2. 農用地以外の利活用 3. 観光業との連携等の多様な産業との連携 4. 先端農業技術等の導入 5. 担い手や後継者の育成 6. その他 ()	問8-3
	4. 公共交通で移動しやすい交通環境の構築	→	1. 隣接市町村との公共交通の連携 2. 公共施設、商業施設へのアクセス向上 3. 多様な交通手段との乗継を可能にする乗継拠点の整備 4. その他 ()	問8-4
	5. 東海岸地域の市町村（与那原町・西原町・中城村・北中城村・沖縄市・うるま市）と連携した産業振興	→	1. 既存の主要産業（観光業、農業等）の強化 2. 新規産業の創出 3. 産業用地の確保 4. 道路等のインフラ整備 5. その他 ()	問8-5
	6. 高潮や津波、土砂災害等に対応した安全・安心なまちづくり	→	1. 災害に対応したインフラ整備 2. 災害危険区域の周知 3. 避難体制の構築 4. 防災知識の普及・共有 5. その他 ()	問8-6
7. その他 ()				
8. 特に必要なし				

問8 両村の連携促進のための共同プロジェクトとして、より重要だと思うプロジェクトについて、合計の集計結果を見ると、「4. 公共交通で移動しやすい交通環境の構築」が478件（60%）と最も多くなっており、次いで「2. 人口減少・少子高齢化している地域の良好な住環境の形成・維持」が425件（53%）、「1. 中城城跡を核とした文化・歴史・自然資源の保全・活用」が353件（44%）となっている。

また、中城村と北中城村を比較すると、「6. 高潮や津波、土砂災害等に対応した安全・安心なまちづくり」は中城村が北中城村より割合が高くなっており、「1. 中城城跡を核とした文化・歴史・自然資源の保全・活用」は、北中城村が中城村より割合が高くなっている。

問8	中城村		北中城村		合計	
1. 中城城跡を核とした文化・歴史・自然資源の保全・活用	179	40%	174	49%	353	44%
2. 人口減少・少子高齢化している地域の良好な住環境の形成・維持	236	53%	189	54%	425	53%
3. 遊休農地(耕作されていない農地)の管理や利活用	172	39%	142	40%	314	39%
4. 公共交通で移動しやすい交通環境の構築	273	61%	205	58%	478	60%
5. 東海岸地域の市町村(与那原町・西原町・中城村・北中城村・沖縄市・うるま市)と連携した産業振興	137	31%	101	29%	238	30%
6. 高潮や津波、土砂災害等に対応した安全・安心なまちづくり	195	44%	123	35%	318	40%
7. その他	4	1%	2	1%	6	1%
8. 特に必要なし	8	2%	5	1%	13	2%
	n=445		n=353		n=798	



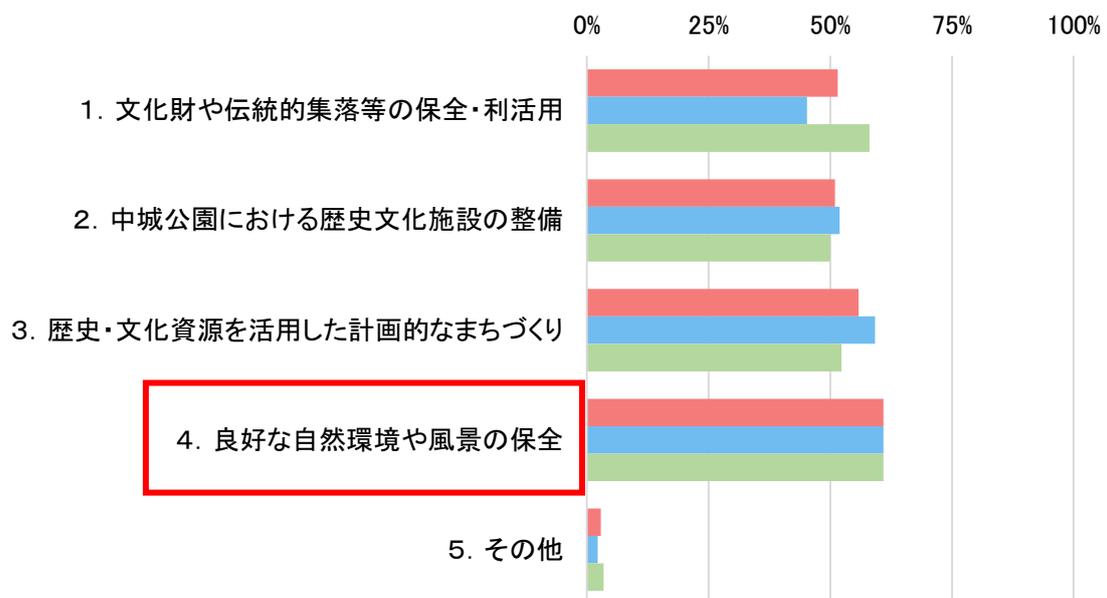
主なその他の回答

- ・中城・北中城共同の火葬場、墓地運営
- ・災害、防犯対策（各地域主要力所の災害、防犯カメラの設置）

問8-1 問8にて重要なプロジェクトが「1. 中城城跡を核とした文化・歴史・自然資源の保全・活用」だと回答した人の内、具体的な活用方法や整備等として最も重要だと思う項目について、全体の回答結果を見ると、「4. 良好な自然環境や風景の保全」が215件（61%）と最も多く、次いで「3. 歴史・文化資源を活用した計画的なまちづくり」が197件（56%）となっている。

また、中城村と北中城村を比較すると、「3. 歴史・文化資源を活用した計画的なまちづくり」は中城村が北中城村より割合が高くなっており、「1. 文化財や伝統的集落等の保全・利活用」は北中城村が中城村より割合が高くなっている。

問8-1	中城村		北中城村		合計	
1. 文化財や伝統的集落等の保全・利活用	81	45%	101	58%	182	52%
2. 中城公園における歴史文化施設の整備	93	52%	87	50%	180	51%
3. 歴史・文化資源を活用した計画的なまちづくり	106	59%	91	52%	197	56%
4. 良好な自然環境や風景の保全	109	61%	106	61%	215	61%
5. その他	4	2%	6	3%	10	3%
	n=179		n=174		n=353	



凡例
■ 合計
■ 中城村
■ 北中城村

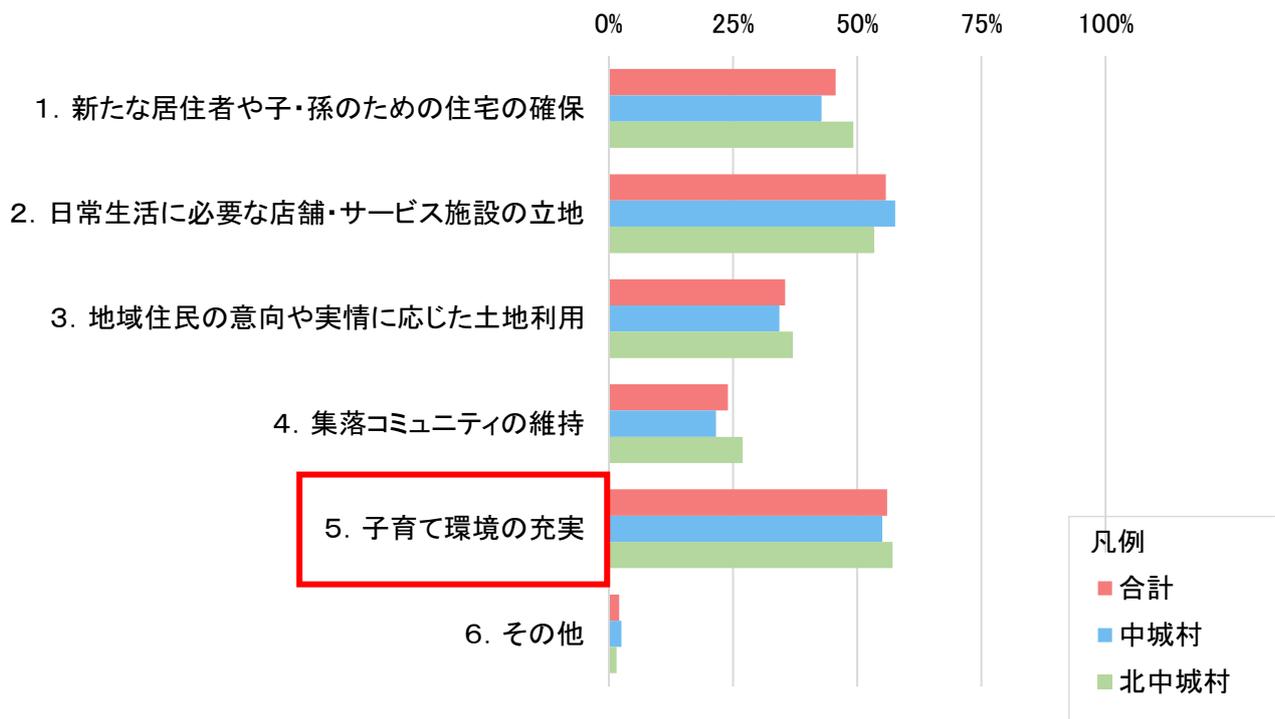
主なその他の回答

- ・ 城を中心とした北中へのアプローチ
- ・ 公園へのアクセス、道路の整備等
- ・ 子どもが訪れる機会の創出
- ・ 若い世代の理解と協力
- ・ 毎間事業：まつり、十五夜、他
- ・ 箱物ではなく、そのままを活かした映画撮影
- ・ 人材育成

問8-2 問8にて重要なプロジェクトが「2. 人口減少・少子高齢化している地域の良好な住環境の形成・維持」だと回答した人の内、具体的な活用方法や整備等として最も重要だと思う項目について、全体の回答結果を見ると、「5. 子育て環境の充実」が238件（56%）と最も多く、次いで「2. 日常生活に必要な店舗・サービス施設の立地」が237件（56%）、「1. 新たな居住者や子・孫のための住宅の確保」が194件（46%）となっている。

また、中城村と北中城村を比較すると、「2. 日常生活に必要な店舗・サービス施設の立地」は中城村が北中城村より割合が高くなっており、「1. 新たな居住者や子・孫のための住宅の確保」は北中城村が中城村より割合が高くなっている。

問8-2	中城村		北中城村		合計	
1. 新たな居住者や子・孫のための住宅の確保	101	43%	93	49%	194	46%
2. 日常生活に必要な店舗・サービス施設の立地	136	58%	101	53%	237	56%
3. 地域住民の意向や実情に応じた土地利用	81	34%	70	37%	151	36%
4. 集落コミュニティの維持	51	22%	51	27%	102	24%
5. 子育て環境の充実	130	55%	108	57%	238	56%
6. その他	6	3%	3	2%	9	2%
	n=236		n=189		n=425	

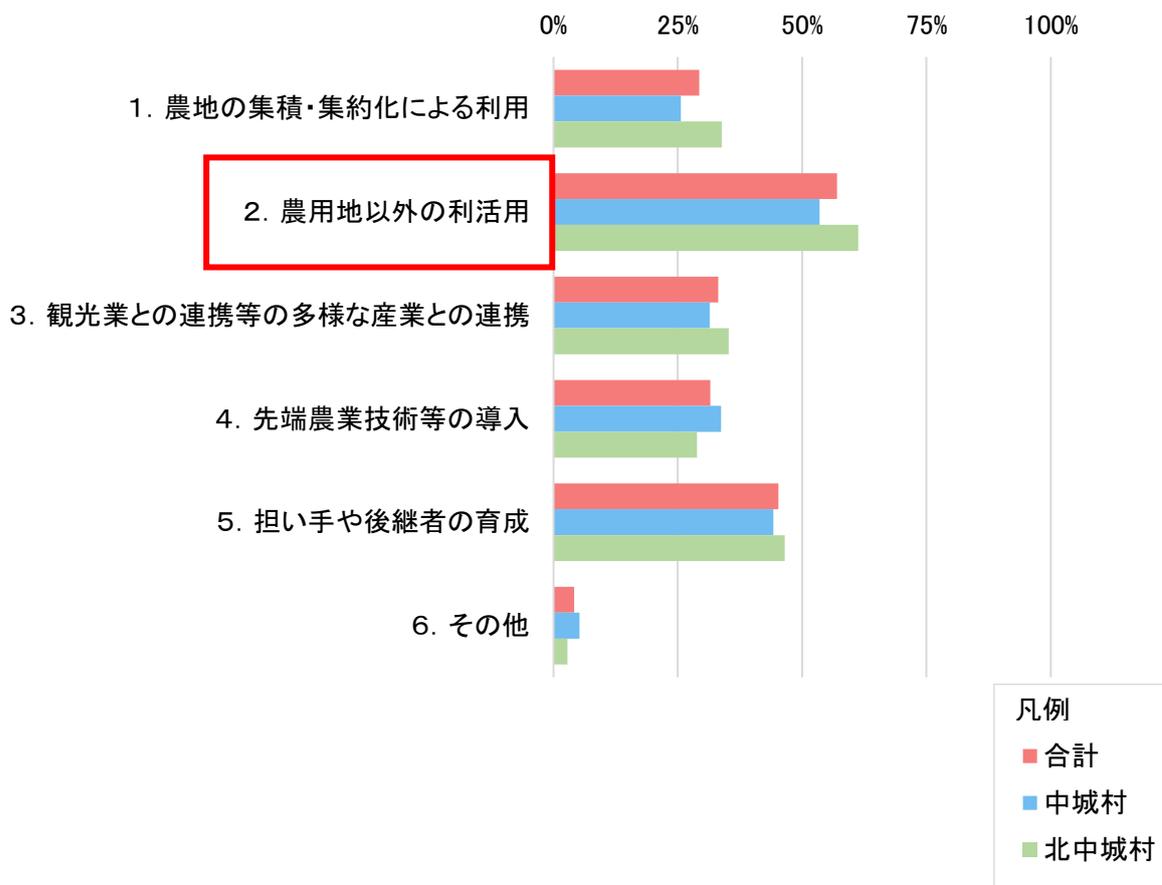


主なその他の回答

- ・空地、空家対策
- ・ミニ区画整理事業の整備
- ・中学校の新たな建築
- ・知花ドッグランや公園、図書館などのような日常的に利用する施設の充実、その周辺のカフェやスーパーなどの商業施設の充実
- ・子育て支援（給付金の拡大等）
- ・既存集落のインフラ整備

問8-3 問8にて重要なプロジェクトが「3. 遊休農地（耕作されていない農地）の管理や利活用」だと回答した人の内、具体的な活用方法や整備等として最も重要だと思う項目について、全体の回答結果を見ると、「2. 農用地以外の利活用」が179件（57%）と最も多く、次いで「5. 担い手や後継者の育成」が142件（45%）となっている。また、中城村と北中城村を比較すると、「4. 先端農業技術等の導入」は中城村が北中城村より割合が高くなっており、「1. 農地の集積・集約化による利用」「2. 農用地以外の利活用」は北中城村が中城村より割合が高くなっている。

問8-3	中城村		北中城村		合計	
1. 農地の集積・集約化による利用	44	26%	48	34%	92	29%
2. 農用地以外の利活用	92	53%	87	61%	179	57%
3. 観光業との連携等の多様な産業との連携	54	31%	50	35%	104	33%
4. 先端農業技術等の導入	58	34%	41	29%	99	32%
5. 担い手や後継者の育成	76	44%	66	46%	142	45%
6. その他	9	5%	4	3%	13	4%
	n=172		n=142		n=314	



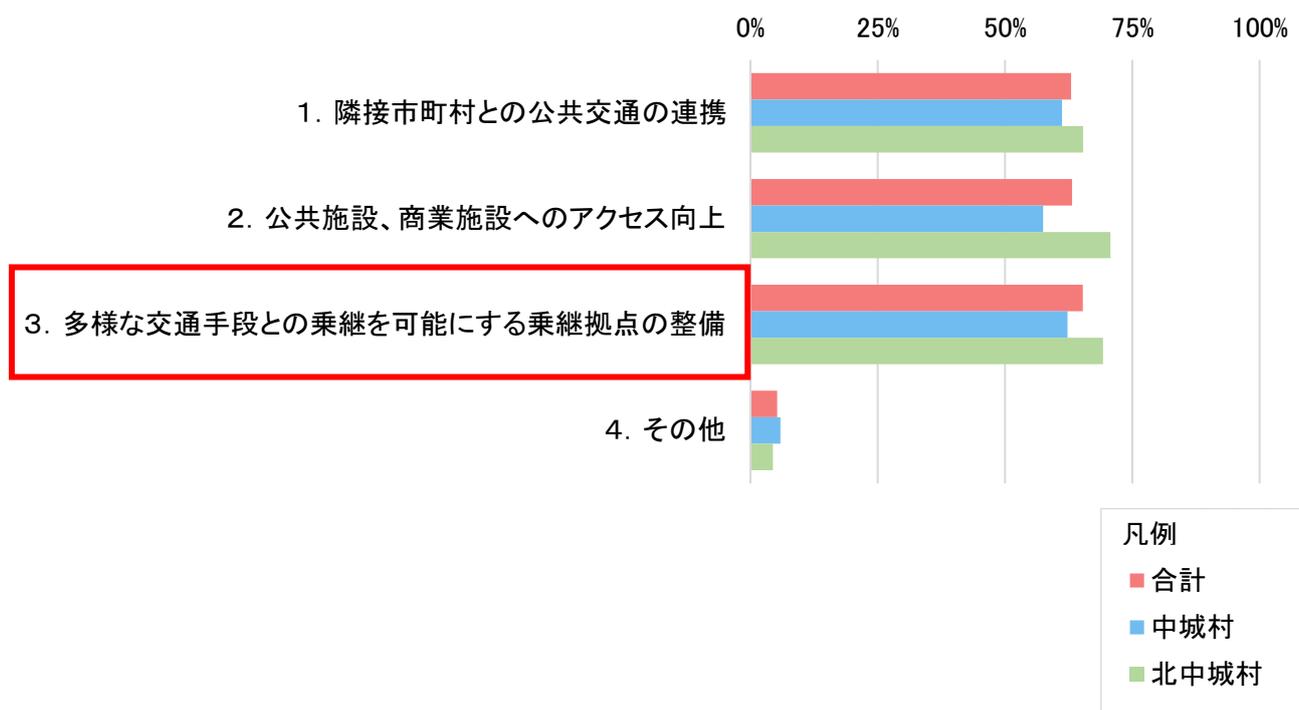
主なその他の回答

- ・ 農地の保護、観光農園や特産物の開発
- ・ 畑やりたい人に安く貸してほしい
- ・ ソーラー発電やバイオガス発電
- ・ 宅地として利用
- ・ 農業法人などの活用
- ・ 村民が活用できる仕組み作り
- ・ 村営農業法人設立、雇用創出
- ・ 県外からの移住者応募

問8-4 問8にて重要なプロジェクトが「4. 公共交通で移動しやすい交通環境の構築」だと回答した人の内、具体的な活用方法や整備等として最も重要だと思う項目について、全体の回答結果を見ると、「3. 多様な交通手段との乗継を可能にする乗継拠点の整備」が312件（65%）と最も多く、次いで「2. 公共施設、商業施設へのアクセス向上」が302件（63%）、「1. 隣接市町村との公共交通の連携」が301件（63%）となっている。

また、中城村と北中城村を比較すると、1～3のどの項目も北中城村が中城村より割合が高くなっており、特に「2. 公共施設、商業施設へのアクセス向上」は北中城村が中城村より割合が高くなっている。

問8-4	中城村		北中城村		合計	
1. 隣接市町村との公共交通の連携	167	61%	134	65%	301	63%
2. 公共施設、商業施設へのアクセス向上	157	58%	145	71%	302	63%
3. 多様な交通手段との乗継を可能にする乗継拠点の整備	170	62%	142	69%	312	65%
4. その他	16	6%	9	4%	25	5%
	n=273		n=205		n=478	

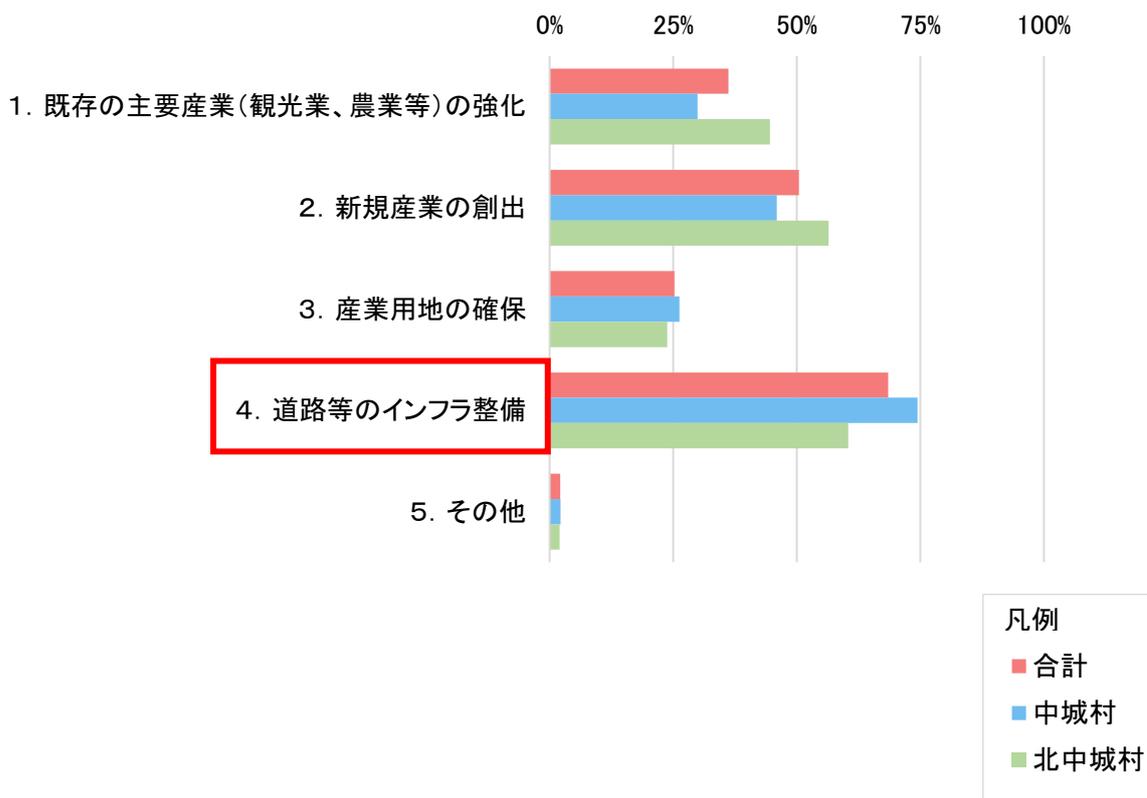


主なその他の回答	その他の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・モノレール延伸 ・モノレール終点及び自動車道からのハード及びソフトのアクセスの整備 ・高速道路利用向上のため、付近に駐車場が欲しい。駐車場からライカムや中城城跡等をつなぐ村内バスも欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば中城の南上原のサンエーからライカムへの無料バスが出るなど。主要な商業施設と住宅密集地を結ぶ交通手段 ・下の地区から上へあがる公共交通が欲しい。 ・ごさまるバスをデマンド化へ ・渋滞の解消 ・農道の整備 ・電気バスによるゼロエミッション

問8-5 問8にて重要なプロジェクトが「5. 東海岸地域の市町村（与那原町・西原町・中城村・北中城村・沖縄市・うるま市）と連携した産業振興」だと回答した人の内、具体的な活用方法や整備等として最も重要だと思う項目について、全体の回答結果を見ると、「4. 道路等のインフラ整備」が163件（68%）と最も多く、次いで「2. 新規産業の創出」が120件（50%）となっている。

また、中城村と北中城村を比較すると、「4. 道路等のインフラ整備」は中城村が北中城村より割合が高くなっており、「1. 既存の主要産業（観光業、農業等）の強化」「2. 新規産業の創出」は北中城村が中城村より割合が高くなっている。

問8-5	中城村		北中城村		合計	
1. 既存の主要産業（観光業、農業等）の強化	41	30%	45	45%	86	36%
2. 新規産業の創出	63	46%	57	56%	120	50%
3. 産業用地の確保	36	26%	24	24%	60	25%
4. 道路等のインフラ整備	102	74%	61	60%	163	68%
5. その他	3	2%	2	2%	5	2%
	n=137		n=101		n=238	

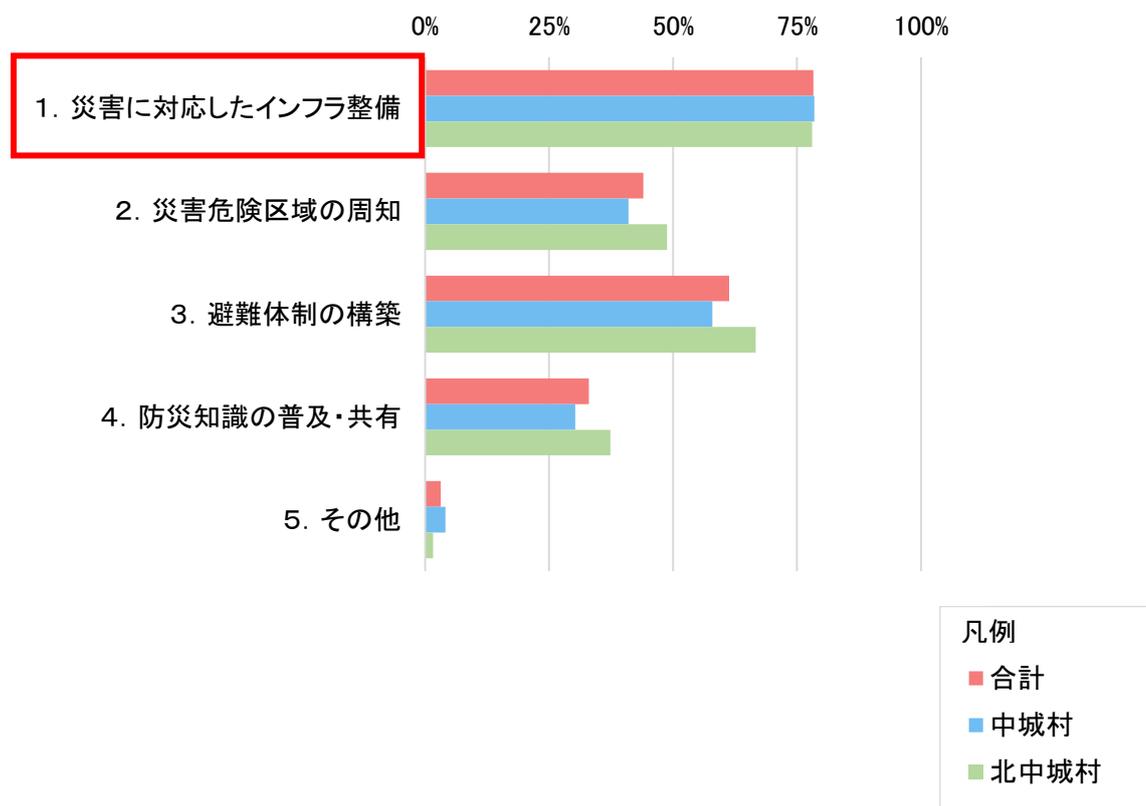


<p>主なその他の回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下水の整備 ・ コスタビスタとの連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民をターゲットとした新規事業 ・ ITや情報産業の促進
--	---

問8-6 問8にて重要なプロジェクトが「6. 高潮や津波、土砂災害等に対応した安全・安心なまちづくり」だと回答した人の内、具体的な活用方法や整備等として最も重要だと思う項目について、全体の回答結果を見ると、「1. 災害に対応したインフラ整備」が249件（78%）と最も多く、次いで「3. 避難体制の構築」が195件（61%）となっている。

また、中城村と北中城村を比較すると、「2. 災害危険区域の周知」「3. 避難体制の構築」「4. 防災知識の普及・共有」は北中城村が中城村より割合が高くなっている。

問8-6	中城村		北中城村		合計	
1. 災害に対応したインフラ整備	153	78%	96	78%	249	78%
2. 災害危険区域の周知	80	41%	60	49%	140	44%
3. 避難体制の構築	113	58%	82	67%	195	61%
4. 防災知識の普及・共有	59	30%	46	37%	105	33%
5. その他	8	4%	2	2%	10	3%
	0	n=195	n=123		n=318	



主なその他の回答

- ・ 東海産業横の高潮対策
- ・ 災害危険区域の整備
- ・ 被災後の連携
- ・ 中城村役場の立地場所について
- ・ 高台に公共施設をつくる
- ・ 災害時の高齢者の移動
- ・ 訓練の回数を増やす
- ・ CO2を出さないまちづくりで、災害をおさえる

問9. 今後の共同まちづくりで期待する取組やご提案など、ご自由にお書きください。

主な意見を抜粋し記載する。

- ・観光に力を入れる沖縄なら、生い茂る草を整える必要がある。
- ・読谷村の琉球ランタン夜フェスティバルのような中城城跡でのイベント、祭りの開催。
- ・よく観光地にあるような展望台を作るといいと思う。ハンタ道の眺望も、地元のウォーキングしながらよっているという人ばかり。
- ・共同の都市スペース（各種イベント開催←北中城・中城村の歴史・文化アピールの場、観光資源の場 etc）の設置。
- ・中城村、北中城村の広報を互いに見れるシステムの導入。そうなれば、イベント・求人・行事呼びかけ等々で、自然と両村の情報が互いにつながり、交流が盛んになるのではないか。
- ・中城村の観光や特徴などを、HP や Youtube やインスタグラム、インターネットを使って遠隔で見ることができるような動画など情報を発信する。
- ・更なる SNS 活用、ロケや SNS 発信者（インフルエンサー）の人の誘致による活性化に力を入れ、「長寿」や「歴史」的な特徴あるテーマに絞ったまちづくりを、行ってみる冒険を、行ってみるのもいいと思う。沖縄県の中でも、飛び抜けたまちづくりをしてほしい。
- ・琉大が近くにある事をもっと活用するべき。（小中学校との連携、塾の整備、企業とのタイアップ）
- ・アメリカンヴィレッジのようなすてきなカフェやお店が並ぶような小さめの町が（大きすぎると村の魅力がなくなる。）できるよう、若者のビジネス支援し、若い人が住みたくなるようなまちに。
- ・若者が集まる様な、コンサート等が開催できる施設（大型）や、モータースポーツ関係施設の整備。
- ・常時無料（自治会などでの集金）のプロのクリエイターなど、一人でできる仕事の体験。（制作環境を整えイラストレーター・歌手体験、ミニ農園の貸し出し農家体験など）
- ・「住める。住みやすい。働ける。学べる。生産できる。」街づくり。全てが揃った新しい街を、率先して進めることが大切。歴史、観光も大事だと思うが、まずは、人口を増やし、暮らしを充実させる必要があると感じる。
- ・空き家、空き地の調査、仲立ちをし、県内外、村内の低所得者の方々に、低い金額で貸し出す。
- ・宅地の整備、居住環境の整備。本屋や文具店、クリニックやスーパーなど、生活に必要な施設がほしい。
- ・モノレールとのアクセスを良くしてほしい、モノレールで浦西と琉大、琉大から中城城跡、勝連城跡、南上原まで延長してほしい。
- ・北中城村の地域通貨まーいを、カードに現金をチャージして、今後も使えるようにしてほしい。使える場所をふやしてほしい。
- ・地域の子どもたちが使える施設（サッカー場、野球場、テニスコート、体育館）などがある公園を整備して欲しい。
- ・両村が持つ沖縄の田舎の風景、景観を意識したまちづくりをしてほしい。
- ・若い人達、子や孫達の住宅（空地・空家）の整備。
- ・中学校を新たに作って欲しい。
- ・地域子育て支援センター等を休日こそ利用したい。子育てで孤立する親が悩みやつらさを共有できる場所がほしい。（例 浦添市 zeroplace）